

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅳ (血液・造血器)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進	
開講年次・時期	1 年後期 令和 4 年 10 月 6 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ 血液・造血器：10 時間 ・ 運動器：10 時間 ・ アレルギー：10 時間	
講師/所属・職位 /資格・免許	伊藤貴司/岩手県立宮古病院・呼吸器内科長/医師 菖蒲澤大樹/岩手県立宮古病院・呼吸器内科医師/医師			
授業の概要	血液・造血器疾患の病態・検査・治療を学ぶ			
到達目標	血液・造血器疾患の病態・検査・治療を理解する			
事前学習内容	本単元に関する人体の構造と機能の学習内容を復習しておく			
成績評価の方法	試験による評価(100 点)、受講態度、出席状況			
使用教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 4 血液・造血器 (第 15 版第 4 刷、医学書院)			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		講師	授業形態
第 1 回	第 3 章 検査・診断と症候・病態生理		伊藤	講義
第 2 回	第 4 章 疾患と治療の理解 A. 赤血球系の異常			
第 3 回	第 4 章 疾患と治療の理解 B. 白血球系の異常 C. 造血器腫瘍		菖蒲澤	
第 4 回	第 4 章 疾患と治療の理解 C. 造血器腫瘍			
第 5 回	第 4 章 疾患と治療の理解 D. 出血性疾患			
終講試験				
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける 4. 自身の考えや疑問点は積極的に表現し、主体的に学ぶ姿勢で授業に臨む			

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅳ (運動器)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 4 年 12 月 8 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ 血液・造血器：10 時間 ・ <u>運動器</u> ：10 時間 ・ アレルギー・膠原病：10 時間
担当講師名	白倉 義博	所属・職位	岩手県立宮古病院・ 副院長兼整形外科長兼救急医療科長
		資格・免許	医師
授業の概要	運動器疾患の病態・検査・治療を学ぶ		
到達目標	運動器疾患の病態・検査・治療を理解する		
事前学習内容	本単元に関する人体の構造と機能を復習しておく		
成績評価の方法	試験による評価(100 点) 、受講態度 、出席状況		
使用教科書	新体系看護学全書 成人看護学⑪ 運動器 （第 4 版第 4 刷、メヂカルフレンド社）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 1 章 運動器の構造と機能		講義
第 2 回	第 2 章 運動器の症状と病態生理		
第 3 回	第 3 章 運動器疾患にかかわる診察・検査・治療		
第 4・5 回	第 4 章 運動器疾患と診療		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける 4. 自身の考えや疑問点は積極的に表現し、主体的に学ぶ姿勢で授業に臨む		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅳ (アレルギー・膠原病)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 5 年 1 月 19 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の 3 単元で構成される ・ 血液・造血器：10 時間 ・ 運動器：10 時間 ・ <u>アレルギー・膠原病：10 時間</u>
担当講師名	吉田 健	所属・職位	岩手県立宮古病院・消化器内科長兼医療研修科長兼災害医療科長
		資格・免許	医師
授業の概要	アレルギー・膠原病疾患の病態・検査・治療を学ぶ		
到達目標	アレルギー・膠原病疾患の病態。検査・治療を理解する		
事前学習内容	解剖学と生理学で学習したアレルギーに関する内容を復習しておく。また、教科書のアレルギーおよび膠原病の第 1・2 章は予習しておく		
成績評価の方法	試験（100 点）、受講態度、出席状況		
使用教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 11 アレルギー 膠原病 感染症（第 15 版第 2 刷） 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	膠原病・アレルギー・感染症の概要		講義
第 2 回	アレルギー疾患の病態生理・症状・診断・治療		
第 3 回	膠原病の病態生理・症状・診断・治療		
第 4 回	感染症の病態生理・症状・診断・治療		
第 5 回	感染対策		
試験			
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける 4. 自身の考えや疑問点は積極的に表現し、主体的に学ぶ姿勢で授業に臨む		